

B B 断面図

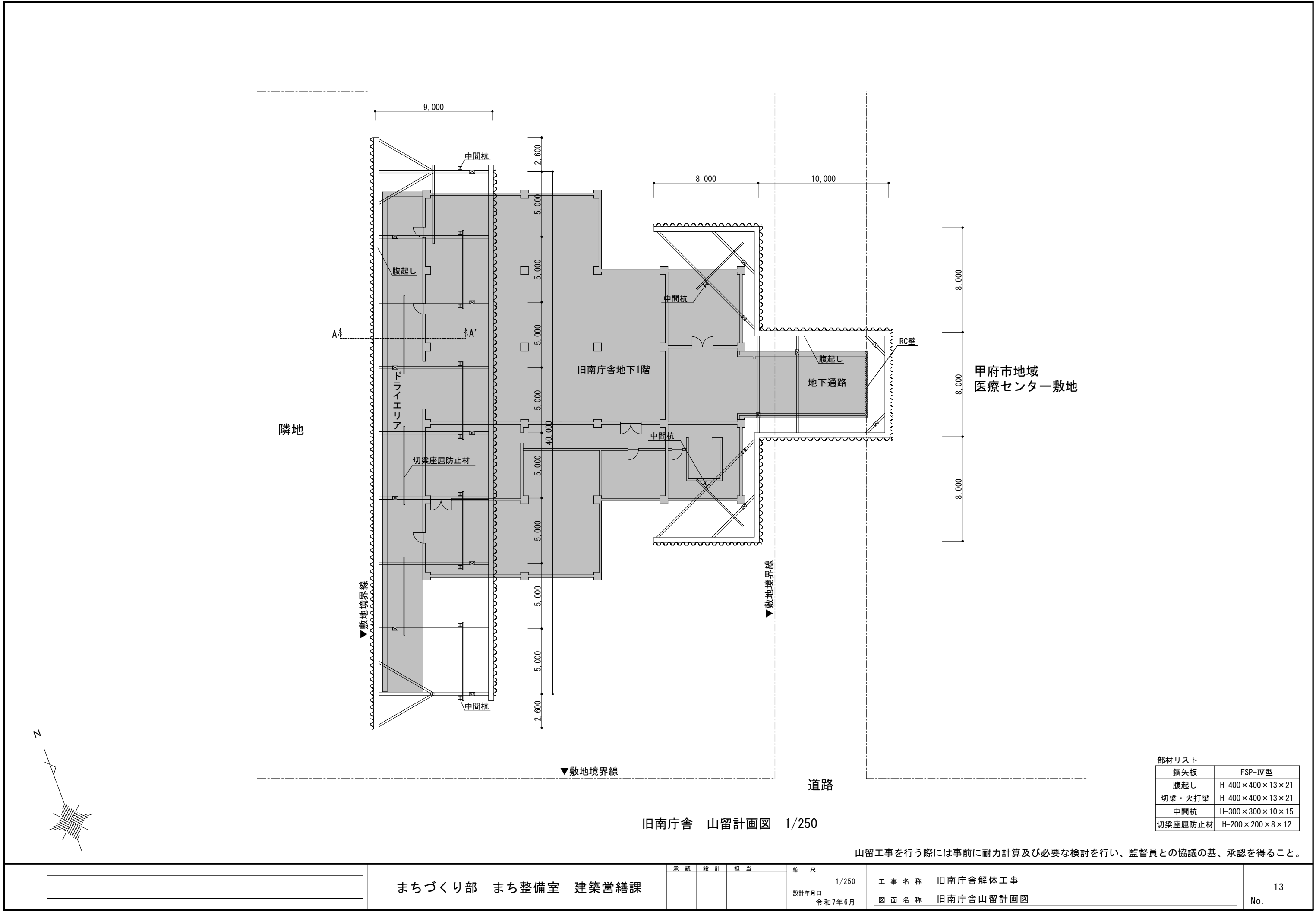
仕 樣 書		
鉄 骨 骨	脂肪 6% 糖 糖 8% 70+70-44% [1000]	明用通鉄 25
骨 子 油	油 100 45%, 油 100 40%, 油 100 42%, 油 100 35%	油 100 45%
明 用 通 鉄	40+2+40 50-42% 糖 100 40% 糖 100 40%	糖 100 40%
7-10-16	40+2+40 50-42% 糖 100 40% 糖 100 40%	糖 100 40%
計 量 書	70-10 40+2+40 50-42% 糖 100 40% 糖 100 40%	糖 100 40%
多 柱	250-1 骨 700 鉄 100 40% 糖 100 40%	糖 100 40%
保 護	70+70 40-10-70-10 10% 以上	10% 以上

国 房 産 物 法 令 第 10 条 第 1 項 第 1 号 第 1 号 第 1 号

注意 產廢物、法令に依り手離 積置 施工に当りて

市立甲府病院増築工事 設計図	No. A
不化 9-2 詳細図	1
山梨県建築設計協会	

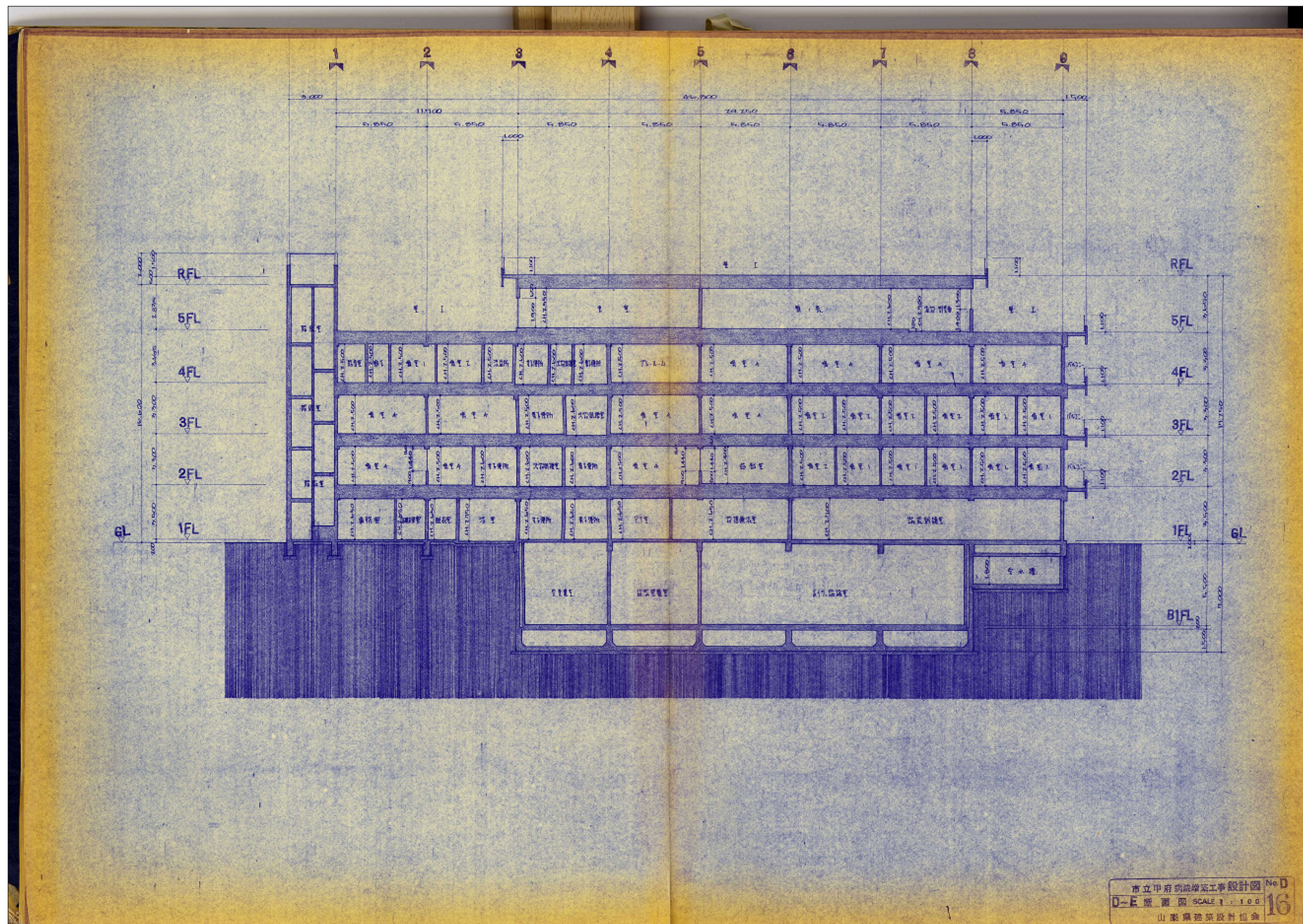
地下機械室用埋設重油タンク詳細図



旧南庁舎 山留計画図 1/250

部材リスト	
鋼矢板	FSP-IV型
腹起し	H-400×400×13×21
切梁・火打梁	H-400×400×13×21
中間杭	H-300×300×10×15
切梁座屈防止材	H-200×200×8×12

山留工事を行う際には事前に耐力計算及び必要な検討を行い、監督員との協議の基、承認を得ること。



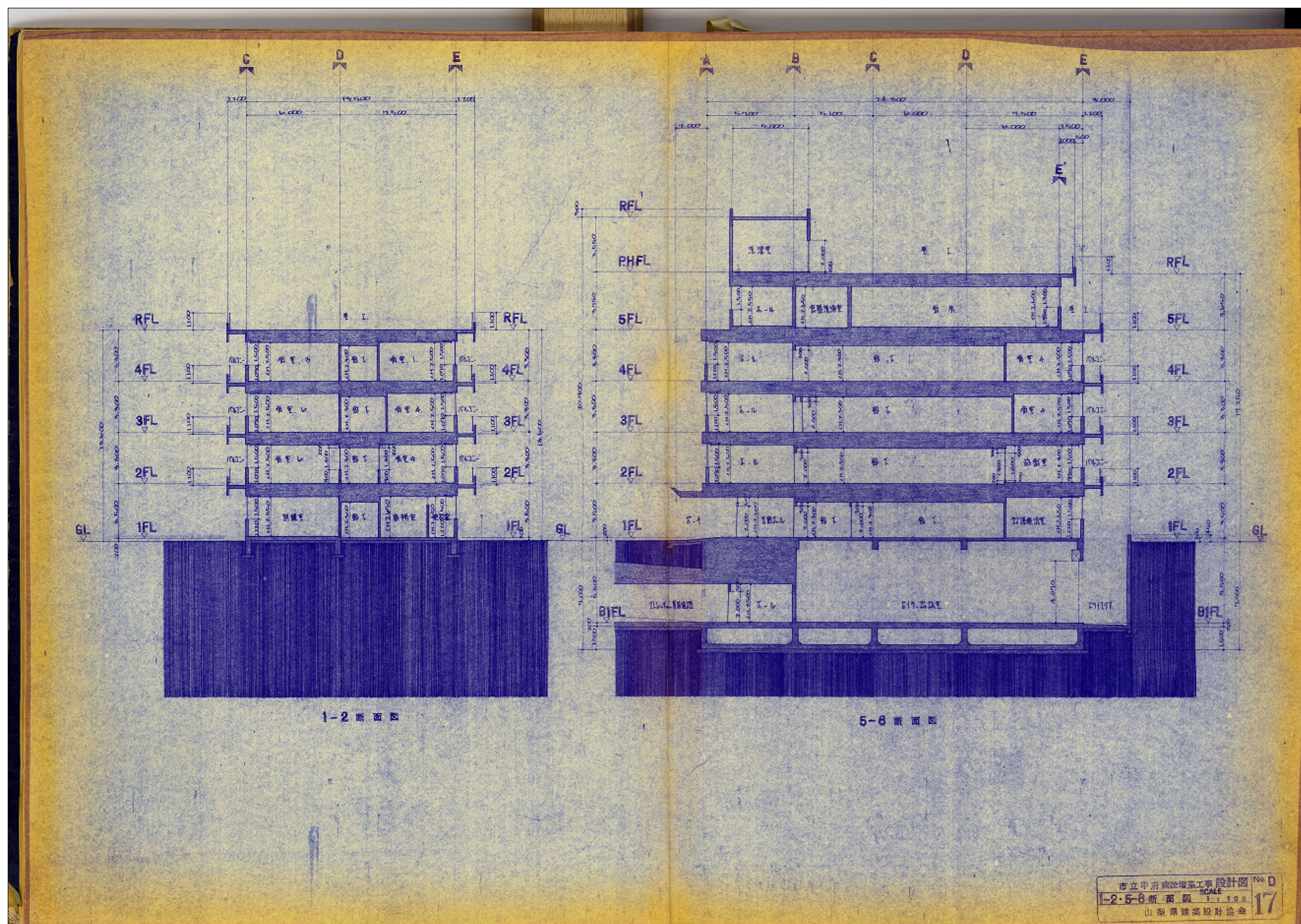
旧南庁舎 断面図① 1/300

まちづくり部 まち整備室 建築営繕課

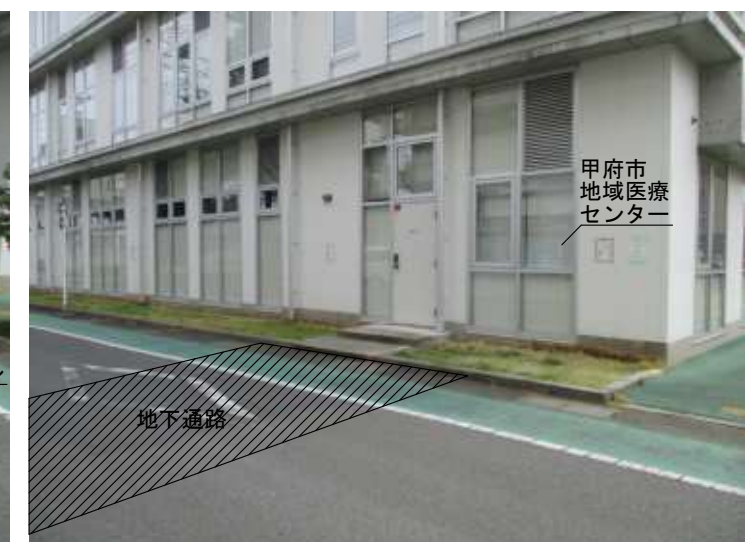
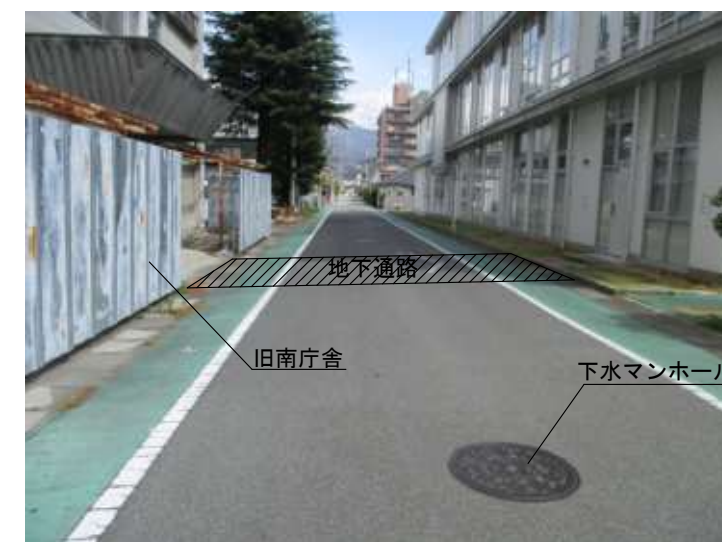
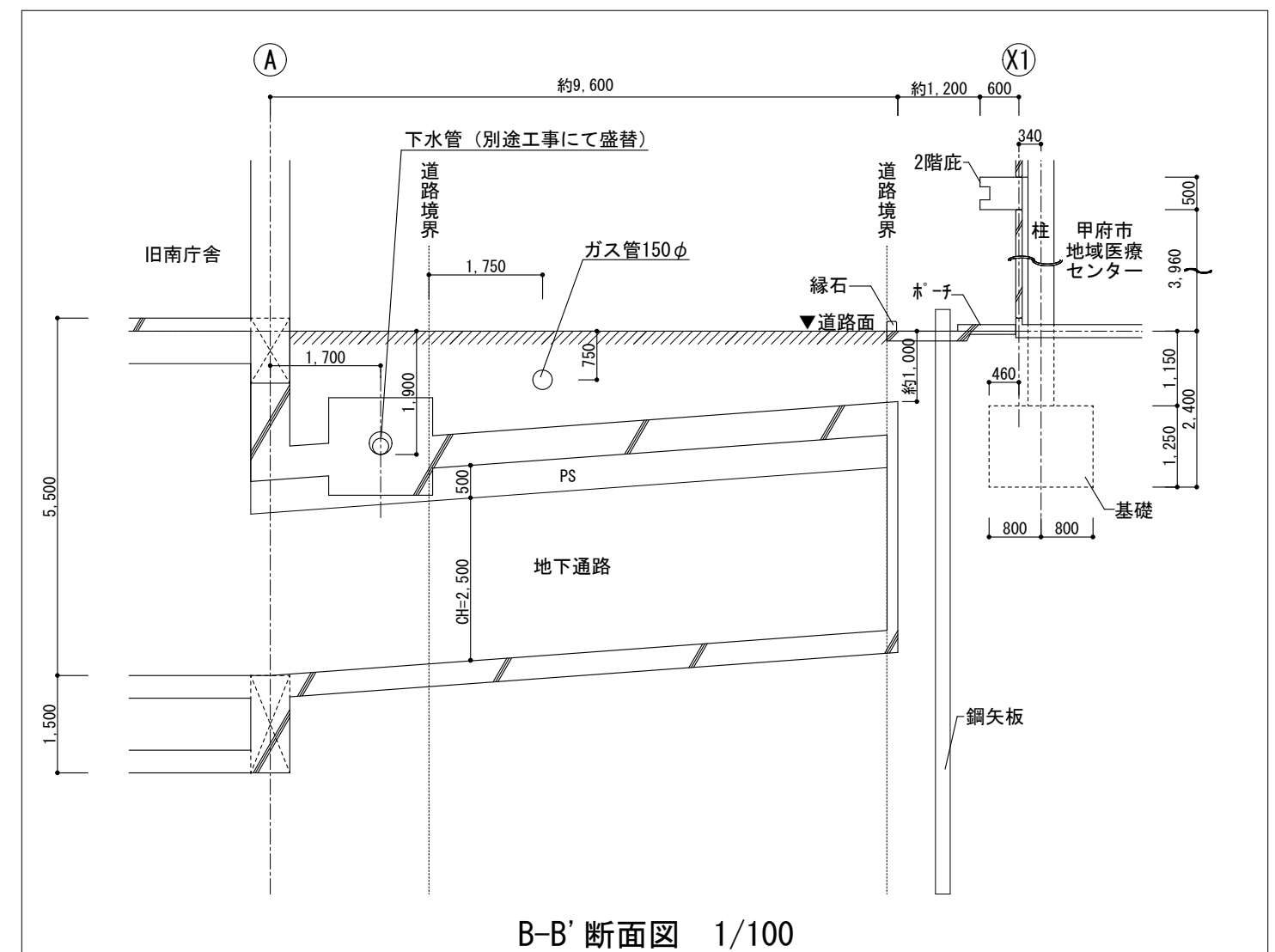
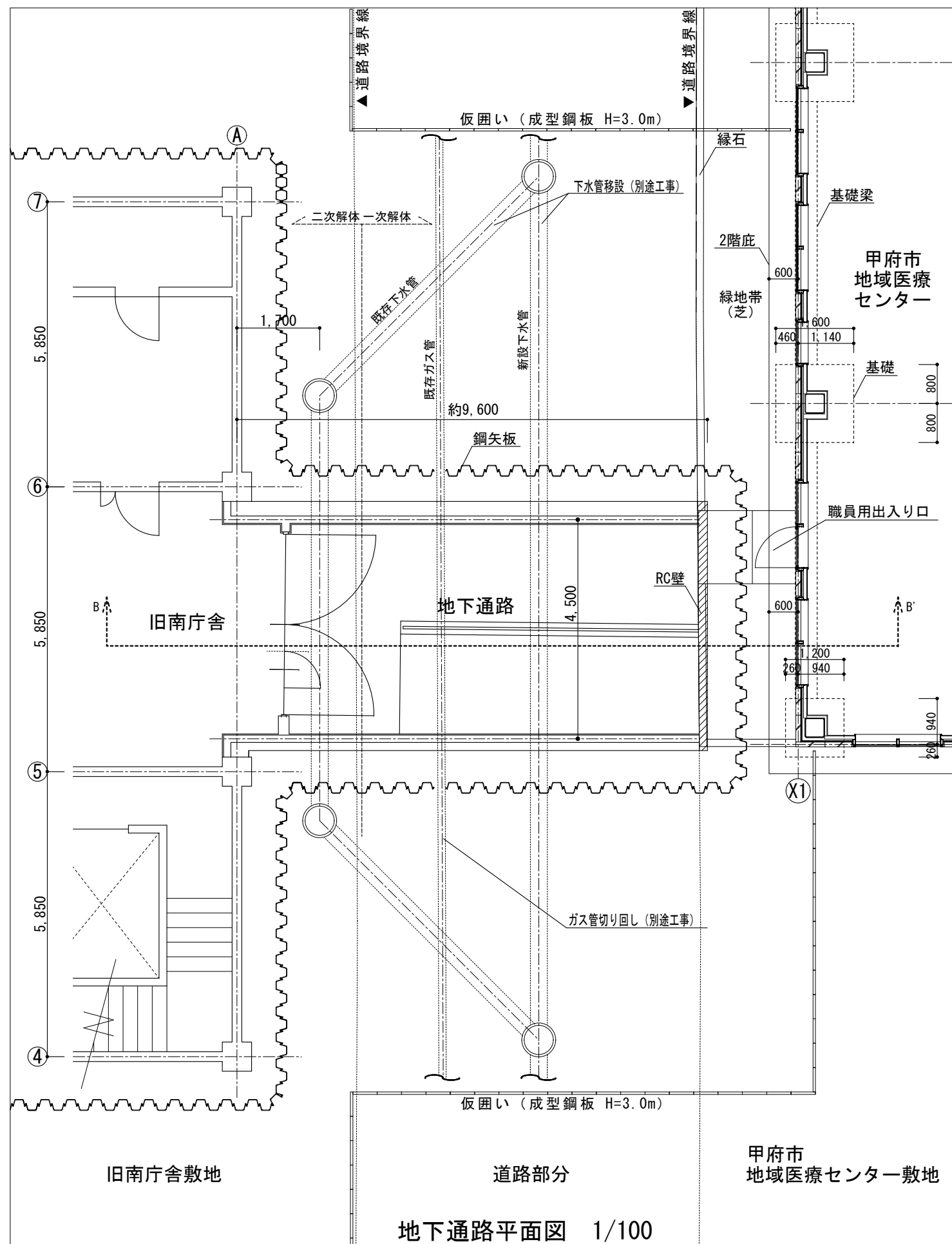
承認 設計 担当

縮尺 1/300
設計年月日 令和7年6月

工事名称 旧南庁舎解体工事
図面名称 旧南庁舎断面図①



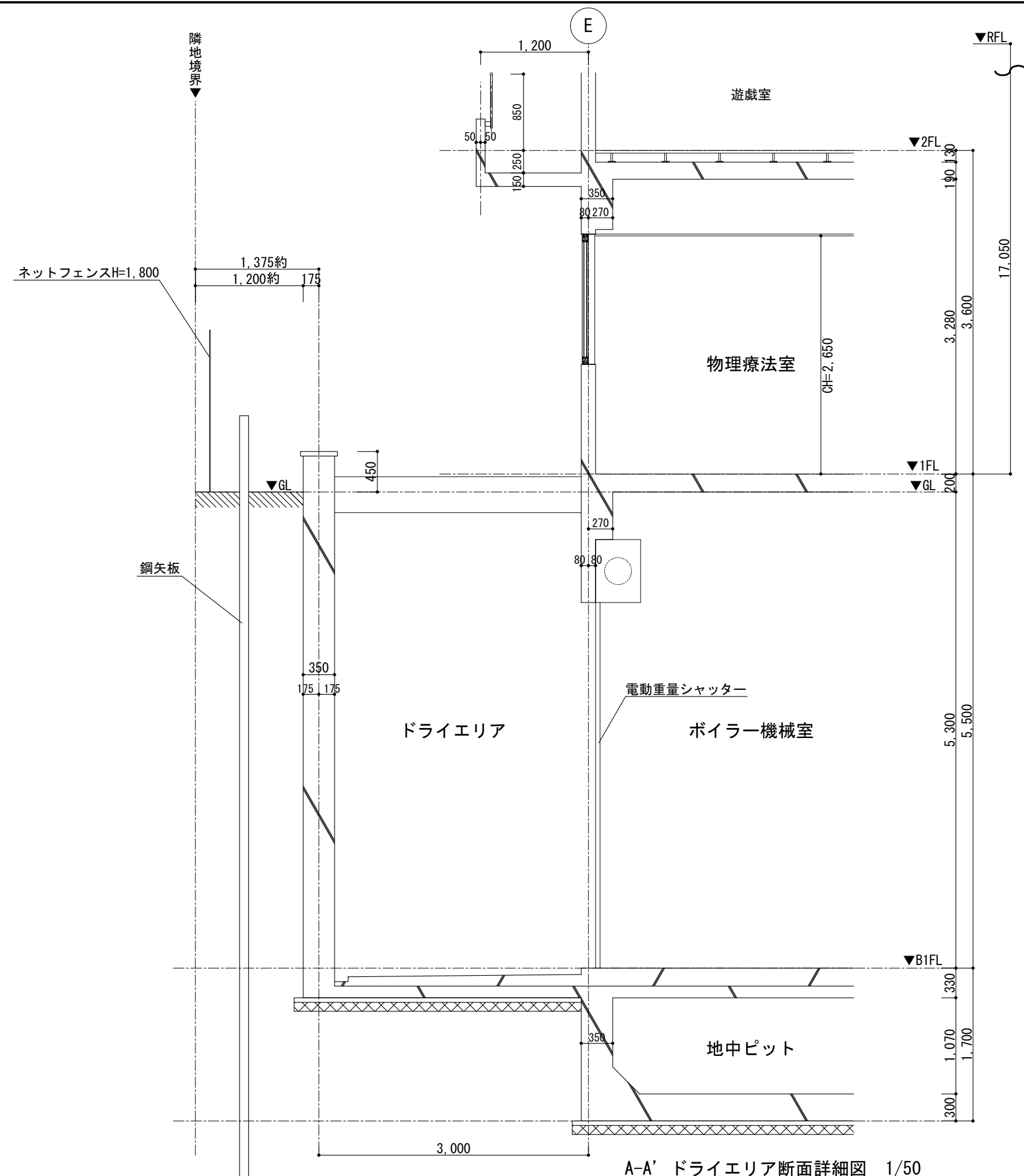
旧南庁舎 断面図② 1/300



※地下通路解体は、令和8年度中に行うこと。

※地下通路解体時は道路部分を一次解体した後、上下水管移設・ガスパイプ移設（別途工事）を行い、敷地内部分を二次解体すること。

※工事の際には、所轄警察署、道路管理者との協議及び安全施設類設置参考図書に基づき、必要な道路標識の設置、交通誘導員の配置を行うほか、工事の起終点に必要な標示板を設置すること



樹木①	樹木②	樹木③④	樹木⑤⑥								
<div></div> <div>▲高木 H=8.0m φ200</div>	<div></div> <div>▲中木 H=3.5m φ200</div>	<div></div> <div>▲高木 H=10.0.0m φ300 (2本)</div>	<div></div> <div>▲中木 H=3.5m φ200 (2本)</div>								
樹木⑦⑧	樹木⑨⑩	引き込み柱									
<div></div> <div>▲高木 H=10.0m φ300 高木 H=8.0m φ200</div>	<div></div> <div>▲低木 H=2.0m 株立ち 低木 H=1.0m 株立ち</div>	<div></div> <div>▲引き込み柱</div>	<div><div><div>▼道路面</div><table><tr><td>表層 密粒度ASC</td><td>50</td></tr><tr><td>上層路盤 M-30</td><td>150</td></tr><tr><td>下層路盤 RC-40</td><td>350</td></tr><tr><td>埋戻し材</td><td></td></tr></table></div><div>道路舗装構成 甲府市道A型構造</div></div>	表層 密粒度ASC	50	上層路盤 M-30	150	下層路盤 RC-40	350	埋戻し材	
表層 密粒度ASC	50										
上層路盤 M-30	150										
下層路盤 RC-40	350										
埋戻し材											

まちづくり部 まち整備室 建築営繕課

承認	設計	担当	縮尺	工事名称 旧南庁舎解体工事
			設計年月日 令和7年6月	